

目的

平成 23 年度、平成 24 年度は厚生労働省の「在宅医療連携拠点事業」の委託を受けて協議会を設立し、活動してきた。この拠点事業は終了したが、2 年間の活動で築いてきた顔の見える関係をもとに、地域の皆様が住み慣れた場所で生活することを支援するための活動を行うことを目的とする。

協議会役員・事務局

- ◆ 会長 中島 茂夫(西岡病院 院長)
- ◆ 副会長 松本 修二(松本内科クリニック 院長)
五十嵐 知文(西岡病院 副院長)
寺本 信(西岡水源池通りクリニック 院長)
- ◆ 事務局 岡村 紀宏(西岡病院 地域連携室)
川村 爲美(西岡病院 地域連携室)

活動内容

1. 合同会議

今年度 4 回の合同会議を行った。

第 1 回(H25.5.27、出席者 82)

- ・平成 24 年度の活動についての説明
五十嵐 知文 副会長(西岡病院副院長)

- ・「在宅医療と漢方治療」について
ごう内科クリニック 鈴木 郷 院長

- ・グループワーク

平成 25 年度の活動について

第 2 回(H25.8.26、出席者 91 名)

- ・「介護保険認定審査と主治医意見書について」
西岡病院 副院長 織田 一昭

- ・グループワーク

主治医意見書作成についての課題と連携

第 3 回 (H25.10.28、出席者 98 名)

- ・「感染症への対策について」～インフルエンザウィルスへの対応を中心に～

西岡病院 消化器内科医長 辻 直樹

- ・実習

- マスクのフィットテスト
- 手指消毒実技

第 4 回(H26.3.17、出席者 46 名)

- ・「さっぽろ医療計画」について

札幌保健所医療政策課医療企画係 深澤 友博 氏

- ・「とよひら・りんくの平成 25 年度の活動について」
会長 中島 茂夫 (西岡病院 院長)



▲合同会議の様子

2. 研修の実施

終末期カリキュラム研修会を 4 回と口腔ケア研修会を 1 回行った

第 1 回終末期カリキュラム研修会(H25.6.24、出席者 75 名)

- ・看取りの実践報告

実践報告1. 社会福祉法人ノテ福祉会 特別養護老人ホームふるさと

施設長 小林 孝広 氏

看護主任 飯田 とよ子 氏

実践報告2. 愛の家グループホーム札幌川沿

ホーム長 中谷 みさ 氏

- ・グループワーク

看取りについて

第 2 回終末期カリキュラム研修会(H25.9.30、出席者 60 名)

- ・『在宅医療・介護の推進について』

独立行政法人 国立長寿医療研究センター 在宅連携医療部 後藤 友子 氏

- ・認知症の対応について

医師の立場から

いまいホームケアクリニック 今井 浩平 院長

介護施設の立場から

特別養護老人ホーム幸栄の里 田村 素子 施設長

- ・グループワーク

認知症対応における課題

第 3 回終末期カリキュラム研修会(H25.12.16、出席者 63 名)

・札幌市における救急業務の現状について
札幌市豊平消防署警防課救急担当消防指令 庄司
隆広 氏

・医療機器体験会
喀痰吸引、AED、CV ポート、在宅酸素、福祉用具、訪
問入浴

第 4 回終末期カリキュラム研修会(H26.2.24、出席者 45
名)

・「介護施設との連携を通して」実践報告

西岡病院 内科医長 澤田 格

・「看取りに関するアンケート結果報告」

西岡病院 看護師 川村 為美

・「平成 26 年度診療報酬改定の情報提供」

西岡病院 事務次長 杉村 洋祐

・グループワーク

今年度の振り返り

来年度の活動について

口腔ケア研修会(H25.11.26、出席者 14 名)

(協力:札幌歯科医師会、札幌歯科衛生士会)

・講演会

- 「口腔ケアの仕組み」

札幌歯科医師会 中澤 潤 氏

- 「明日から使える口腔ケア」

北海道歯科衛生士会 木本 恵美子 氏(副会長)

・体験会

3. 学会発表

H26.3.1,2 第 16 回日本在宅医学大会(静岡県)

「とよひら・りんくんの取り組みについて」

演者 西岡病院 副院長 五十嵐 知文

「終末期研修会について」

演者 西岡病院 岡村 紀宏

4. 地域講話 西岡福住地区センター

・H25.7.30 札幌市豊平区介護予防センター東月寒・福
住

5. 講演対応 5 件

・医療講演会 (H25.7.5 シルバーハイツ羊ヶ丘 1.2 番
館、参加 106 名)

五十嵐 知文(西岡病院 副院長)

・北海道病院協会空知支部研修会(H25.8.30 砂川パー
クホテル、参加 100 名)

「地域包括ケアシステム構築への課題～とよひら・りん
くんの活動から～」

五十嵐 知文(西岡病院 副院長)

・木朝会・21 クラブ講演会(H25.9.19 参加 25 名)

五十嵐 知文(西岡病院 副院長)

・北海道薬剤師会日高地区在宅医療講演会(H25.9.26
浦河町、33 名参加)

「在宅医療の推進について～とよひら・りんくの活動か
ら」

岡村 紀宏(西岡病院)

「地域包括ケアシステムの構築への課題」

五十嵐 知文(西岡病院 副院長)

・北海道病院協会旭川支部研修会(H26.3.12)

「在宅医療から地域包括ケアシステムに向かって一連
携とは一」

五十嵐 知文(西岡病院 副院長)



▲口腔ケア研修会の様子

6. 視察対応 3 件

・H25.6.24 美幌町国民健康保険病院(3 名)

・H25.8.23 神戸市会福祉環境委員会視察(13 名)

・H25.8.27 美幌町議会(7 名)

7. 執筆

H25.6 診断と治療社 リハビリテーションと地域連携・
地域包括ケア

「地域リハビリテーションにおける多職種連携とコーデ
ィネット」

五十嵐 知文、中嶋 豪(ごう内科クリニック院長)

H25.10 全日本病院協会学会誌

「在宅医療の推進について～とよひら・りんくの活動か
ら」

岡村 紀宏

8. アンケート調査

- ・看取りに関する意識調査アンケート(2回目) 平成 25 年 6 月～10 月

連携する 17 機関 540 名から回答があり、施設での看取り援助が実施されるためには、「本人、家族の葛藤を理解し受け止めるための学習」、「職員個々の死生観について話し合うこと」、「医療連携を充実させること」が必要であることがわかった。

- ・施設での医療ニーズ対応に関するアンケート 平成 25 年 10 月

19 の施設から回答があり、ホームページ掲載にむけて調整中。

9. 主治医意見書の作成に関して

検討チームを構成し、在宅での療養の状態が反映された主治医意見書となる為の、情報提供用紙を作成し運用を開始した。(情報提供用紙はとよひら・りんくのホームページに掲載)

10. 24 時間体制を構築するためのネットワークシステムの改良

在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所の連携(緊急時の入院受け入れ等の後方支援)のため、クラウド型アプリケーションシステムを運用しているが、平成 25 年 9 月より Ver2.0 に移行した。

考察

「とよひら・りんく」が発足して 3 年が経過し、少しずつだが顔の見える関係が広がってきている。この間、初めての看取り介護を行う施設も出ており、「とよひら・りんく」の活動に参加して『看取りへの理解が深まった』『看取り介護の実践が出来た』等の意見があり、研修会は一定の成果があったと考えられる。また平成 26 年度に向けては、症例発表会の要望が多くあった他、研修会の内容については『褥瘡』『認知症』など新たな課題への対応が求められている。また、『看取りについて一般市民の意識と差がある』などの声があり、地域住民向けの啓蒙活動への課題も見えてきた。